

令和5年度第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

○ 令和5年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿	．．．．．	P 1
○ 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会設置要綱	．．．．．	P 2
○ 【資料1】 令和4年度第6回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要	．．．	P 3
○ 【資料2】 伊勢志摩地域の県立全日制高等学校の入学者選抜の状況 ①令和5年度・現高1、②令和4年度・現高2	．．．	P 6
○ 【資料3】 伊勢志摩地域の全日制高等学校の 入学定員と入学者数・欠員数の推移	．．．．	P 8
○ 【資料4】 市町別の中学校卒業者進学先の推移	．．．．．	P 9
○ 【資料5】 伊勢志摩地域の県立高等学校の進路希望状況（12月）の推移	．．．	P 10
○ 【資料6】 令和5年度の協議について	．．．．．	P 11
○ 【資料7】 伊勢志摩地域 中学校卒業者数の推移と予測（含社会増減）	．．．．	P 13
○ 【資料8】 伊勢志摩地域の中学校卒業者数（予測）と県立高等学校募集定員	．．	P 14
○ 【資料9】 令和20年度までの伊勢志摩地域の 県立全日制高等学校の総学級数と当協議会の協議について	．．．	P 15
○ 【資料10】 令和6年度三重県立高等学校全日制学科別学級数（1学年）	．．．	P 16
○ 【資料11】 県立全日制高等学校の学級数の状況（令和6年度）	．．．．．	P 19
○ 【資料12】 伊勢志摩地域の高等学校等の学科・コースについて（令和6年度）	．．	P 20
○ 【資料13】 伊勢志摩地域の県立全日制高校卒業生の進路状況	．．．．．	P 21
○ 【資料14】 伊勢志摩地域の県立高等学校の特色（各学校より）	．．．．．	P 22
○ 【資料15】 学級規模による教育環境の比較	．．．．．	P 33
【別冊資料】 令和4年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ	．．．	1 部
県立高等学校活性化計画（令和4年3月）	．．．．	1 部

令和5年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No	所属及び名前	本年度 出席委員	新・継
1	学識経験者 三重大学 教育学部 教授 田中 伸明	○	新
2	地域有識者 亀谷内科胃腸科 院長 亀谷 章	○	継続
3	鳥羽商工会議所 専務理事 清水 清嗣	○	継続
4	志摩市商工会 事務局長 竹内 厚史	○	継続
5	度会町商工会 事務局長 富内 伊佐雄	○	継続
6	市町教育委員会 伊勢市教育委員会 教育長 岡 俊晴	○	継続
7	鳥羽市教育委員会 教育長 小竹 篤	○	継続
8	志摩市教育委員会 教育長 舟戸 宏一	○	継続
9	度会町教育委員会 教育長 中村 武弘	○	継続
10	南伊勢町教育委員会 教育長 劔山 成実	○	継続
11	県立高等学校長代表 県立明野高等学校 校長 東浦 宏幸	○	新
12	小中学校長代表 伊勢市立港中学校 校長 清水 能人	—	継続
13	鳥羽市立鳥羽東中学校 校長 谷口 三津夫	○	新
14	志摩市立東海中学校 校長 寺本 一夫	—	継続
15	大紀町立大紀中学校 校長 東浦 良幸	○	新
16	小中学校PTA代表 伊勢市PTA連合会 代表 浦田 宗昭 (伊勢市立厚生中PTA)	○	継続
17	鳥羽市PTA連合会 代表 岩崎 俊 (鳥羽市立加茂小PTA)	○	新
18	志摩市PTA連合会 代表 朝日 秀道 (志摩市立大王小PTA)	○	新
19	度会郡PTA連絡協議会 代表 谷口 賢 (大紀町立錦小PTA)	○	新
20	高等学校PTA代表 南勢地区高等学校PTA連合会 代表 花井 譲 (県立明野高校PTA)	○	新
21	小中学校教職員代表 伊勢市立小俣小学校 教諭 中村 充伸 (伊勢市 教員代表)	—	新
22	鳥羽市立加茂小学校 教諭 出口 晴之 (鳥羽・志摩地域 教員代表)	○	新
23	南伊勢町立南島中学校 教諭 永井 勇輔 (度会・南伊勢地域 教員代表)	○	新
24	高等学校教職員代表 県立伊勢工業高等学校 教諭 三橋 哲夫 (県立高等学校 教員代表)	○	継続

伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、伊勢志摩地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の伊勢志摩地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 伊勢志摩地域の県立高等学校活性化の方策に関する事
- (3) 施設・設備に関する事
- (4) その他検討を要する事

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成24年 6月28日から施行する。

この要綱は平成29年 8月 1日から施行する。

令和 4 年度第 6 回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和 5 年 2 月 2 1 日（火）19 時 00 分から 21 時 10 分まで

2 場所 伊勢庁舎 4 0 1 会議室

3 概要

今年度の協議会での検討をふまえ、15 年先をみすえた伊勢志摩地域の県立高校の学びと配置のあり方に関する考え方と、南伊勢高校南勢校舎を募集停止とすることを含めた令和 6 年度の学級減への対応の方向性について、協議会として意見集約し、県教育委員会への提言としました。

<主な意見>

（今年度の「協議会のまとめ」案の記述について）

- これまでの協議会で 15 年先をみすえて議論を重ねてきた、一定規模の普通科や専門学科の選択肢の維持、これまで培ってきた小規模校での学びの継承など、単なる統廃合ではなく、地域全体で高校の学びを大切にしていける考えが丁寧にまとめられている。
- 「当協議会の考え方」のこれからの地域の高校生に大切にすべき学びの部分に、自己の将来を切り拓く力や自ら学び続ける力の育成などを追記すれば、当協議会で県立高等学校活性化計画をふまえながら議論してきた考え方をより分かりやすく示すことができるのではないか。

（令和 6 年度の南伊勢高校南勢校舎の募集停止について）

- これまでの南勢校舎の入学状況と直近の 2 年間で連続 2 人程度という入学状況をふまえると、募集停止とすることはやむをえない。募集停止となったあとの在校生への教育環境の保障や、精神的な不安の解消など、しっかりとフォローすることが大切である。
- 南伊勢町内から高校がなくなることや、高校の選択肢が減るのは残念ではあるものの、現状では募集停止は致し方なく、令和 5 年度入学生や保護者の意向を尊重しながら、募集停止後に南勢校舎に在籍する生徒の学びの支援をしてもらいたい。
- 募集停止については、現状から考えると致し方ないことと思うが、様々な家庭事情の中で通学している状況を想像すると、個人的には判断することは難しい。
- 募集停止の後、在籍生徒の学びをどう保障するかが大切である。これまで南勢校舎と度会校舎は個別に教育活動をするが多かったが、これからは生徒や保護者の思いを大切にしながら、より一体感を持った高校とするために、様々な活動にどう取り組んでいけるのか検討していく必要がある。

- 令和5年度に南勢校舎の全生徒数が10人程度となると見込まれる中、在校生の学びを保障しつつ令和6年度に募集停止とすることについては、今回の協議会のまとめに明記する必要がある。

(今後の当地域の高校の学びと配置のあり方について)

- 学級減による高校の小規模化がさらに進む中、小規模の高校にとって今回のまとめの方向性を新たな挑戦の機会としていかなければならない。教員配置数が少なくなる中、教育の質が低下しないよう地域も高校の活性化を支援していくので、県としても何らかの支援をしてほしい。
- ICTを活用した教育とメディアリテラシーに関する教育を進め、オンラインと対面の授業を組み合わせることで教育効果をあげることが大切である。
- 生徒は、高校で多くの人々との出会いを求めている一方で、近くの高校に通いたいとも思っている。これから高校の統合が進む中において、そのニーズに応えるため、通信制課程の学びやICTの活用など様々な工夫が必要である。
- 生徒の成長をふまえると、高校への進学の際に、より多くの仲間が集まり、社会が広がるのが大切であるため、高校は中学校より大きな規模となるほうがよい。
- 15年先には社会の状況の変化等により、40人以下の学級が当たり前になるなど、教育を取り巻く環境が変わる可能性もある。その中で教育の質が高められる体制ができることが望ましい。
- 以前と比べ地域の交通事情は改善してはいるものの、便数の少ない中での長時間の通学は大きな生徒の負担となる。伊勢志摩地域全体での公共交通ネットワークを念頭において、高校の配置を検討することが大切である。
- 伊勢市内では小中学校でも統合が進んでいることをふまえると、高校においても統合は仕方がないのではないかと。統合にあたっては、地域の生徒が地域を題材として豊かな学びができるようにしてもらいたい。
- 今後、地域が持続的に活性化していくためには、子どもたちがこの地域に住み続けることや、一度地域を離れても戻ってくる必要があるため、高校において、この協議会で議論されてきた伊勢志摩地域を学ぶ活動に取り組むべきである。

(今後の当協議会での協議について)

- 今後の協議を進めていくにあたっては、学校個別ではなく地域全体を念頭において高校の学びについて協議していくことが必要である。
- 現在の「県立高等学校活性化計画」が終了する令和8年度までが活性化のひとつの区切りであり、来年度以降の協議では、令和9年以降をみすえた協議をさらに深めていく必要がある。

- 通信制・定時制やフリースクールなど、学びの多様化がますます進む中、これからはこれまでの考え方に収まらない高校が出現する可能性もある。今後は私立高校も含め、学びの多様化に対応する地域全体の高校の学びと配置のあり方をより柔軟に議論すべきである。
- 15年後をみすえた地域の高校の学びと配置については、今後もこの協議会で継続的に検討していかなければならない。しかも、その検討にはスピードが求められていることを認識する必要がある。
- 当協議会で15年先をみすえた協議をしていくにあたっては、次世代を担う高校生をはじめ若い年代の意見を聞く機会も必要ではないか。
- 学校の統廃合にかかわることは、少なくとも数年前から周知できるよう検討を進め、できるかぎり早く情報を公開していく必要がある。

(その他)

- 令和5年度の前期入学者選抜の状況において、伊勢志摩地域の中学校卒業生数が前年度より増加しているにもかかわらず、地域の県立高校への進学希望者数が減少していることの原因の一つには、コロナ禍で不登校となる中学生が増加傾向となり、定時制や通信制の高校を選択する比率が高くなっているからではないか。

伊勢志摩地域の県立全日制高等学校の入学者選抜の状況（令和5年度・現高1）

資料2①

学校名	学科・コース	入学		R4.12時点の進学		前期選抜等				後期選抜				追検査・再募集				入学者数	定員との差 (次員)			
		定員	希望者数	希望者数	定員との差	募集定員	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数			募集定員	志願者数	志願倍率
明野	生産科学	40	52	12	20	53	2.65	22	18	24	1.33	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	食品科学	40	50	10	20	50	2.50	22	18	24	1.33	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	生活教養	40	44	4	20	43	2.15	22	18	18	1.00	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	福祉	40	40	0	20	41	2.05	22	18	17	0.94	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	計	160	186	26	80	187	2.34	88	72	83	1.15	72	0	0	0	0	72	0	0	0	160	0
宇治山田	普通	200	206	6	60	199	3.32	66	134	143	1.07	134	0	0	0	0	134	0	0	0	200	0
	計	200	206	6	60	199	3.32	66	134	143	1.07	134	0	0	0	0	134	0	0	0	200	0
伊勢	普通	240	240	0	-	-	-	-	240	232	0.97	240	0	1	1	1	240	0	1	1	241	1
	国際科学コース	40	51	11	-	-	-	-	40	67	1.68	40	0	0	0	0	40	0	0	0	40	0
	計	280	291	11	0	0	0	0	280	299	1.07	280	0	1	1	1	280	0	1	1	281	1
宇治山田商業	商業	120	116	▲4	60	112	1.87	66	54	54	1.00	54	0	0	0	0	54	0	0	0	120	0
	情報処理	40	38	▲2	20	38	1.90	22	18	15	0.83	15	3	0	0	3	15	3	0	0	37	▲3
	国際	40	53	13	20	51	2.55	22	18	21	1.17	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	計	200	207	7	100	201	2.01	110	90	90	1.00	87	3	0	0	0	87	3	0	0	197	▲3
伊勢工業	機械	80	86	6	40	85	2.13	44	36	45	1.25	36	0	0	0	0	36	0	0	0	80	0
	電気	40	38	▲2	20	38	1.90	22	18	22	1.22	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	建築	40	48	8	20	46	2.30	22	18	21	1.17	18	0	0	0	0	18	0	0	0	40	0
	計	160	172	12	80	169	2.11	88	72	88	1.22	72	0	0	0	0	72	0	0	0	160	0
南伊勢	度会校舎 普通		27		40	26																
	南勢校舎 普通	80	2	▲51	40	28	0.70	28	52	8	0.15	6	46	5	5	5	6	46	5	5	39	▲41
	計	80	29	▲51	40	28	0.70	28	52	8	0.15	6	46	5	5	5	6	46	5	5	39	▲41
鳥羽	総合学科	80	37	▲43	40	42	1.05	42	38	15	0.39	15	23	12	12	12	15	23	12	12	69	▲11
	計	80	37	▲43	40	42	1.05	42	38	15	0.39	15	23	12	12	12	15	23	12	12	69	▲11
志摩	普通	80	40	▲40	40	36	0.90	33	47	6	0.13	5	42	4	4	4	5	42	4	4	42	▲38
	計	80	40	▲40	40	36	0.90	33	47	6	0.13	5	42	4	4	4	5	42	4	4	42	▲38
水産	海洋・機関	40	20	▲20	20	24	1.20	22	18	3	0.17	3	15	1	1	1	3	15	1	1	26	▲14
	水産資源	40	28	▲12	20	25	1.25	22	18	7	0.39	6	12	0	0	0	6	12	0	0	27	▲13
	計	80	48	▲32	40	49	1.23	44	36	10	0.28	9	27	1	1	1	9	27	1	1	53	▲27
伊勢志摩地域（全日制）計		1,320	1,216	▲104	480	911	1.90	499	821	742	0.90	680	141	23	23	23	680	141	23	23	1,201	▲119

伊勢志摩地域の県立全日制高等学校の入学者選抜の状況（令和4年度・現高2）

資料2②

学校名	学科・コース	入学		R3.12時点の進学			前期選抜等				後期選抜				追検査・再募集			入学者数	定員との差 (欠員)		
		定員	希望者数	希望者数	定員との差	募集定員	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数			募集定員	志願者数
明野	生産科学	40	35	▲5	20	36	1.80	22	18	17	0.94	18	-	-	18	0.94	18	-	-	40	0
	食品科学	40	42	2	20	38	1.90	22	18	20	1.11	17	1	2	17	1.11	17	1	2	40	0
	生活教養	40	40	0	20	39	1.95	22	18	17	0.94	17	1	1	17	0.94	17	1	1	40	0
	福祉	40	38	▲2	20	39	1.95	22	18	16	0.89	16	2	1	16	0.89	16	2	1	40	0
	計	160	155	▲5	80	152	1.90	88	72	70	0.97	68	4	4	72	0.97	68	4	4	160	0
宇治山田	普通	200	255	55	60	232	3.87	66	134	163	1.22	134	-	-	134	1.22	134	0	0	200	0
	計	200	255	55	60	232	3.87	66	134	163	1.22	134	0	0	134	1.22	134	0	0	200	0
伊勢	普通	240	213	▲27	-	-	-	-	240	215	0.90	240	-	-	240	0.90	240	-	-	240	0
	国際科学コース	40	74	34	-	-	-	-	40	89	2.23	40	-	-	40	2.23	40	-	-	40	0
	計	280	287	7	0	0	0	0	280	304	1.09	280	0	0	280	1.09	280	0	0	280	0
宇治山田商業	商業	80	100	20	40	91	2.28	44	36	46	1.28	36	-	-	36	1.28	36	-	-	80	0
	情報処理	40	42	2	20	44	2.20	22	18	27	1.50	18	0	1	18	1.50	18	0	1	40	0
	国際	40	67	27	20	64	3.20	22	18	28	1.56	18	-	-	18	1.56	18	-	-	40	0
	計	160	209	49	80	199	2.49	88	72	101	1.40	72	0	1	72	1.40	72	0	1	160	0
	機械	80	75	▲5	40	77	1.93	44	36	37	1.03	36	-	-	36	1.03	36	-	-	80	0
伊勢工業	電気	40	35	▲5	20	36	1.80	22	18	21	1.17	18	-	-	18	1.17	18	-	-	40	1
	建築	40	35	▲5	20	34	1.70	22	18	16	0.89	16	2	1	16	0.89	16	2	1	40	▲1
	計	160	145	▲15	80	147	1.84	88	72	74	1.03	70	2	2	72	1.03	70	2	2	160	0
南伊勢	普通	80	34	▲44	40	36	0.90	31	49	5	0.10	3	46	2	3	0.10	3	46	2	34	▲44
	普通	80	2	▲78	40	0	0	0	40	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	80	▲78
鳥羽	総合学科	80	31	▲49	40	32	0.80	32	48	9	0.19	9	39	4	9	0.19	9	39	4	45	▲35
	計	80	31	▲49	40	32	0.80	32	48	9	0.19	9	39	4	9	0.19	9	39	4	45	▲35
志摩	普通	80	43	▲37	40	42	1.05	40	40	6	0.15	6	34	7	6	0.15	6	34	7	53	▲27
	計	80	43	▲37	40	42	1.05	40	40	6	0.15	6	34	7	6	0.15	6	34	7	53	▲27
水産	海洋・機関	40	28	▲12	20	28	1.40	21	19	6	0.32	5	14	0	5	0.32	5	14	0	26	▲14
	水産資源	40	29	▲11	20	31	1.55	22	18	10	0.56	9	9	0	9	0.56	9	9	0	31	▲9
伊勢志摩地域（全日制）計	計	80	57	▲23	40	59	1.48	43	37	16	0.43	14	23	0	14	0.43	14	23	0	57	▲23
	計	1,280	1,218	▲62	460	899	1.95	476	804	748	0.93	656	148	20	656	0.93	656	148	20	1,151	▲129

伊勢志摩地域の全日制高等学校の入学定員と入学者数・欠員数の推移

教育政策課

学校名	平成31(令和元)年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	入学定員	入学者数	欠員数	入学定員	入学者数	欠員数	入学定員	入学者数	欠員数	入学定員	入学者数	欠員数	入学定員	入学者数	欠員数
明野	<u>160</u>	159	1	160	150	10	160	160	0	160	160	0	160	160	0
宇治山田	240	240	0	240	240	0	<u>200</u>	200	0	200	200	0	200	200	0
伊勢	<u>280</u>	280	0	280	280	0	280	281	(1)	280	280	0	280	281	(1)
宇治山田商業	200	200	0	200	199	1	<u>160</u>	157	3	160	160	0	<u>200</u>	197	3
伊勢工業	160	159	1	160	156	4	160	160	0	160	160	0	160	160	0
南伊勢	度会校舎	80	70	10	<u>80</u>	36	80	38	35	80	34	44	80	37	41
	南勢校舎	40	5	35		14		7			2			2	
鳥羽	80	64	16	80	59	21	80	46	34	80	45	35	80	69	11
志摩	120	107	13	<u>80</u>	77	3	80	51	29	80	53	27	80	42	38
水産	80	70	10	80	57	23	80	61	19	80	57	23	80	53	27
県立高校合計	1,440	1,354	86	1,360	1,268	92	1,280	1,161	120	1,280	1,151	129	1,320	1,201	119
皇學館	320	336	(16)	320	378	(58)	315	323	(8)	315	353	(38)	315	327	(12)
伊勢学園	220	243	(23)	220	245	(25)	220	283	(63)	230	274	(44)	230	289	(59)
私立高校合計	540	579	(39)	540	623	(83)	535	606	(71)	545	627	(82)	545	616	(71)

※欠員数欄の()で示した数字は、入学定員を上回っている人数

※県立高校の入学定員の下線は、前年度から増減があった入学定員数

市町別の中学校卒業生進学先の推移

資料 4

伊勢市の状況

%は、各市町における卒業生数に対する進学者数の割合を表す

卒業年度	卒業生数	全日制 高校・ 高専 進学者数	県立					私立			伊勢市内高校		鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		伊勢市以外	地域外	その他	
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	度会	南勢											
4年度	1,126	1,086	93	179	108	75	79	154	123	24.6%	811	72.0%	26	30	0	7	17	0	80	7.1%	195	40
3年度	1,082	1,015	78	177	89	70	70	181	133	29.0%	798	73.8%	14	33	2	2	15	0	66	6.1%	151	67
2年度	1,057	1,008	88	170	91	82	82	167	127	27.8%	807	76.3%	15	27	2	1	22	0	67	6.3%	134	49
元年度	1,087	1,014	104	179	94	80	66	181	119	27.6%	823	75.7%	18	34	2	4	17	0	75	6.9%	116	73
30年度	1,170	1,108	112	172	89	82	81	163	124	24.5%	823	70.3%	27	33	5	5	28	0	98	8.4%	187	62

鳥羽市の状況

卒業年度	卒業生数	全日制 高校・ 高専 進学者数	県立					私立			伊勢市内高校		鳥羽		商船	志摩	水産	南伊勢		地域外	その他	
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	度会	南勢											
4年度	122	113	11	7	7	10	7	10	9	15.6%	61	50.0%	22	18.0%	11	4	0	0	0	0	15	9
3年度	143	132	9	17	7	12	9	17	15	22.4%	86	60.1%	14	9.8%	9	5	3	0	0	0	15	11
2年度	149	142	18	16	13	10	20	18	15	22.1%	110	73.8%	14	9.4%	6	0	2	0	0	0	10	7
元年度	132	129	19	11	5	11	11	14	4	13.6%	75	56.8%	18	13.6%	10	1	3	0	0	0	22	3
30年度	140	135	21	14	11	10	14	19	7	18.6%	96	68.6%	9	6.4%	10	10	6	0	0	0	4	5

志摩市の状況

卒業年度	卒業生数	全日制 高校・ 高専 進学者数	県立					私立			伊勢市内高校		鳥羽	商船	志摩		水産		南伊勢		地域外	その他
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	度会	南勢											
4年度	340	318	33	40	19	34	18	48	17	19.1%	209	61.5%	2	13	38	11.2%	30	8.8%	0	0	26	22
3年度	339	328	37	32	25	27	21	47	12	17.4%	201	59.3%	3	12	46	13.6%	40	11.8%	0	0	26	11
2年度	313	291	26	45	21	22	12	33	10	13.7%	169	54.0%	0	17	47	15.0%	37	11.8%	0	0	21	22
元年度	389	372	38	51	18	29	19	52	24	19.5%	231	59.4%	3	13	72	18.5%	40	10.3%	0	0	13	17
30年度	400	384	41	39	23	37	11	36	10	11.5%	197	49.3%	4	13	90	22.5%	48	12.0%	0	0	32	16

玉城町の状況

卒業年度	卒業生数	全日制 高校・ 高専 進学者数	県立					私立			伊勢市内高校		鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		伊勢市以外	地域外	その他	
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	度会	南勢											
4年度	147	140	6	19	6	8	8	21	11	21.8%	79	53.7%	3	7	0	0	5	0	15	10.2%	46	7
3年度	150	143	11	10	13	11	9	14	6	13.3%	74	49.3%	4	1	0	0	8	0	13	8.7%	56	7
2年度	145	139	10	16	12	8	13	7	11	12.4%	77	53.1%	3	3	0	0	7	0	13	9.0%	49	6
元年度	178	167	12	14	11	14	13	20	12	18.0%	96	53.9%	2	5	0	0	7	1	15	8.4%	56	11
30年度	158	150	14	12	11	9	14	11	16	17.1%	87	55.1%	3	2	0	0	18	0	23	14.6%	40	8

度会町の状況

卒業年度	卒業生数	全日制 高校・ 高専 進学者数	県立					私立			伊勢市内高校		鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		地域外	その他	
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	度会校舎	南勢										
4年度	70	66	7	10	2	6	3	9	4	18.6%	41	58.6%	0	0	0	0	9	12.9%	0	16	4
3年度	69	65	6	9	3	6	7	7	5	17.4%	43	62.3%	0	2	0	0	6	8.7%	0	14	4
2年度	55	49	2	9	6	5	0	4	0	7.3%	26	47.3%	0	5	0	0	8	14.5%	0	10	6
元年度	70	65	4	8	5	10	3	4	5	12.9%	39	55.7%	0	1	0	0	9	12.9%	0	16	5
30年度	86	85	6	8	8	9	6	5	5	11.6%	47	54.7%	0	2	0	0	21	24.4%	0	15	1

南伊勢町の状況

卒業年度	卒業生数	全日制 高校・ 高専 進学者数	県立					私立			伊勢市内高校		鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		地域外	その他	
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	度会	南勢校舎										
4年度	56	52	5	4	6	9	7	5	7	21.4%	43	76.8%	0	0	0	0	2	2	3.6%	5	4
3年度	54	52	4	11	6	6	8	5	5	18.5%	45	83.3%	0	0	0	1	0	2	3.7%	4	2
2年度	59	58	7	4	3	6	2	6	9	25.4%	37	62.7%	0	0	2	1	1	7	11.9%	10	1
元年度	51	51	7	3	5	8	1	6	5	21.6%	35	68.6%	0	0	1	0	0	13	25.5%	2	0
30年度	64	62	5	7	5	9	3	8	4	18.8%	41	64.1%	0	1	2	2	2	4	6.3%	10	2

* 地域外：伊勢志摩地域の全日制の県立（9校10校舎）と私立（2校）と商船（1校）以外の高校・高専への進学者数
 その他：特別支援・定時制・通信制・各種学校への進学及び就職等の数

伊勢志摩地域の県立高等学校の進路希望状況（12月）の推移

※県内中学生の希望のみ

学校名	項目	平成29年12月	平成30年12月	令和元年12月	令和2年12月 (現高3)	令和3年12月 (現高2)	令和4年12月 (現高1)
明野	充足率	89.5%	108.1%	105.0%	111.3%	96.9%	116.3%
	希望者数/定員	179 / 200	173 / 160	168 / 160	178 / 160	155 / 160	186 / 160
宇治山田	充足率	122.1%	107.1%	95.0%	109.0%	127.5%	103.0%
	希望者数/定員	293 / 240	257 / 240	228 / 240	218 / 200	255 / 200	206 / 200
伊勢	充足率	99.4%	117.5%	104.6%	103.6%	102.5%	103.9%
	希望者数/定員	318 / 320	329 / 280	293 / 280	290 / 280	287 / 280	291 / 280
宇治山田商	充足率	104.5%	105.0%	108.0%	101.9%	130.6%	103.5%
	希望者数/定員	209 / 200	210 / 200	216 / 200	163 / 160	209 / 160	207 / 200
伊勢工	充足率	105.6%	128.1%	98.8%	94.4%	90.6%	107.5%
	希望者数/定員	169 / 160	205 / 160	158 / 160	151 / 160	145 / 160	172 / 160
南伊勢 (度会校舎)	充足率	51.3%	58.8%				
	希望者数/定員	41 / 80	47 / 80				
南伊勢 (南勢校舎)	充足率	50.0%	10.0%				
	希望者数/定員	20 / 40	4 / 40				
南伊勢	充足率			57.5%	43.8%	45.0%	36.3%
	希望者数/定員			46 / 80	35 / 80	36 / 80	29 / 80
鳥羽	充足率	71.3%	53.8%	57.5%	47.5%	38.8%	46.3%
	希望者数/定員	57 / 80	43 / 80	46 / 80	38 / 80	31 / 80	37 / 80
志摩	充足率	87.5%	62.5%	88.8%	53.8%	53.8%	50.0%
	希望者数/定員	105 / 120	75 / 120	71 / 80	43 / 80	43 / 80	40 / 80
水産	充足率	93.8%	93.8%	72.5%	63.8%	71.3%	60.0%
	希望者数/定員	75 / 80	75 / 80	58 / 80	51 / 80	57 / 80	48 / 80

令和 5 年度の協議について

1 令和 4 年度の協議

令和 4 年 3 月に策定した「県立高等学校活性化計画」に基づき、15 年先の中学校卒業生数の減少の状況や令和 4 年度に実施した中学生・保護者へのアンケート結果等をふまえ、今後の伊勢志摩地域の高校の学びと配置のあり方について取りまとめました。その過程である令和 6 年度の生徒減については、できる限り統合ではなく学級減で対応するとともに、南伊勢高校南勢校舎を募集停止とする考え方について方向性を示しました。

※詳細は別冊資料「令和 4 年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ」を参照

2 令和 5 年度の協議の進め方

令和 4 年度のまとめでは、中学校卒業生数の減少に対し、現在の配置のままではこれからの高校生に必要な学びを提供していくことが難しいことから、統合も含めた活性化が必要であるとしました。また、15 年先を見すえた高校の学びと配置のあり方について、当地域の高校生に必要な力や学び、こうした学びを実現するための配置の考え方に加え、検討に際し配慮すべき事項が取りまとめられました。

令和 4 年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する 15 年先までの中学校卒業生数は、波はあるものの継続的に減少し、1 学年あたりの総学級数は令和 6 年度の 29 学級から令和 20 年度には 15～18 学級程度となることを見込まれています。こうした状況の中、伊勢志摩地域の高校生に必要な力を育成することができるよう統合も含めた活性化の協議を進める必要があります。

今年度は、当地域の高校の学びと配置のあり方をより具体的に見通すことができるよう、引き続き、昨年度に取りまとめられた配置の考え方である「専門学科の選択肢や普通科の一定規模の維持」をより深く検討しながら、今後の協議の具体的な進め方について取りまとめていきたいと考えます。

3 今後の協議会開催スケジュール

○第 1 回協議会（本日 9 月 8 日）

- ・伊勢志摩地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・これからの伊勢志摩地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について①

○第 2 回協議会（令和 5 年 11 月頃）

- ・これからの伊勢志摩地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について②

○第 3 回協議会（令和 6 年 2 月頃）

- ・これからの伊勢志摩地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について③
- ・来年度の協議会に向けて

【参考】これまでの協議（平成23年度～令和3年度）

伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会では、長年にわたり地域の現状認識を共有しつつ、特に少子化への対応等を中心に地域特有の課題の解決に向けて協議を重ねてきました。

（1）平成23～24年度（伊勢志摩地域高等学校再編活性化拡大協議会より名称変更）

- 平成24年度の協議会において、平成27年度を目途とした小規模校の統廃合や分校化の具体策をまとめることを決定
- 当地域の中学校1・2年生等及びその保護者に対して、高校進学に対する考えや意見を調べるためのアンケート調査を実施し、「平成24年度協議のまとめ」を作成

（平成25年3月：平成27年度を目途とした小規模校の統廃合や分校化の具体策）

（2）平成25～28年度

- 「専門学科検討ワーキング会議」「鳥羽・志摩・度会地域検討ワーキング会議」を開催し、テーマを絞った協議を開始。平成33（令和3）年度を見据えた平成28年度以降の当地域全体の県立高校のあり方について協議を開始
- <専門学科検討ワーキング会議> 専門学科高校3校（伊勢工業・宇治山田商業・明野）が4学級規模を維持できるうちは、単独校として存続を提案
- <鳥羽・志摩・度会地域検討ワーキング会議> 各高校が連携して活性化に取り組むべき活動として「地域防災プロジェクト」の実施を提案し、「東北交流ボランティア」を実施（平成27年度）。当地域の高校生・中学生及びボランティアの大学生が宮城県・福島県を訪問し、災害ボランティア活動を行い、地域で活動報告も実施
- 「伊勢志摩地域高等学校活性化を考える会」を地域の7市町で開催（平成27年度）し、地域の少子化に伴う中学校卒業生数の減少の状況等について説明・周知し、質疑応答やアンケートにより意見を交換
- 「県立高等学校活性化計画」（平成29年度から5年間）の策定にあたり、鳥羽・志摩・度会地域の小規模校のあり方について協議し、学校別活性化協議会を設置することにより、地域からの主体的な支援策を含め、学校と地域が一体となった活性化に取り組む方向性を確認

（3）平成29～令和3年度

- 伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタを実施（平成29～令和元年度）。小中学生や保護者が各高校の特色を一度に把握できる機会を創出。令和2～3年度はコロナ禍のため、地域の県立高校をPRするチラシを地域の中学生や保護者に向けて配付
- 地域の小規模校での地域と一体となった学校活性化の取組の成果と課題を共有し、今後の伊勢志摩地域の高等学校のあり方など意見を交換
- 「県立高等学校活性化計画」（令和4年度から5年間）の策定を見据え、教育改革推進会議での審議状況、県立高等学校みらいのあり方検討委員会での検討状況、地域の小規模校活性化の総括的な検証等を共有しながら、今後の伊勢志摩地域の高等学校のあり方について意見を交換

伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

資料 7

令和5年5月1日 教育政策課調べ

		R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3
		卒業生数	卒業生数	卒業生数	卒業生数	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	卒業生数	1,087	1,057	1,082	1,126	975	1,035	998	1,026	973	907	952	903	861
	前年度対比		-30	25	44	-151	60	-37	28	-53	-66	45	-49	-42
	R5.3対比					-151	-91	-128	-100	-153	-219	-174	-223	-265
度会郡	卒業生数	358	308	315	337	312	316	294	301	260	273	274	292	243
	前年度対比		-50	7	22	-25	4	-22	7	-41	13	1	18	-49
	R5.3対比					-25	-21	-43	-36	-77	-64	-63	-45	-94
鳥羽市	卒業生数	132	149	143	122	105	119	110	100	94	107	82	101	83
	前年度対比		17	-6	-21	-17	14	-9	-10	-6	13	-25	19	-18
	R5.3対比					-17	-3	-12	-22	-28	-15	-40	-21	-39
志摩市	卒業生数	389	313	339	340	335	284	315	297	237	281	268	246	242
	前年度対比		-76	26	1	-5	-51	31	-18	-60	44	-13	-22	-4
	R5.3対比					-5	-56	-25	-43	-103	-59	-72	-94	-98
小計	卒業生数	1,966	1,827	1,879	1,925	1,727	1,754	1,717	1,724	1,564	1,568	1,576	1,542	1,429
	前年度対比		-139	52	46	-198	27	-37	7	-160	4	8	-34	-113
	R5.3対比					-198	-171	-208	-201	-361	-357	-349	-383	-496
県合計	卒業生数	16,489	15,777	16,244	16,055	15,893	15,669	15,463	15,253	14,747	14,408	14,045	14,001	13,487
	前年度対比		-712	467	-189	-162	-224	-206	-210	-506	-339	-363	-44	-514
	R5.3対比					-162	-386	-592	-802	-1,308	-1,647	-2,010	-2,054	-2,568

伊勢市内高校 (県立全日)	募集定員 (学級数)	1,040 (26)	960 (24)	960 (24)	1,000 (25)	960 (24)		960 (24)						
	欠員※	15	3	1	3	-		-						
	募集定員 (学級数)	320 (8)	320 (8)	320 (8)	320 (8)	200 (5)		200 (5)						
伊勢市以外高校 (県立全日)	募集定員 (学級数)	77 (34)	117 (32)	129 (32)	117 (33)	-								
	欠員※													
	募集定員 (学級数)	1,360 (92)	1,280 (92)	1,280 (92)	1,320 (92)	1,160 (92)		1,160 (92)						
県内 (県立全日)	募集定員 (学級数)	11,400 (285)	10,760 (271)	10,880 (274)	10,640 (268)	10,440 (263)		10,440 (263)						
	欠員※	343	325	334	342	-		-						

※欠員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

(私立、高専入学者の状況)

皇學館	募集	320	315	315	315	315
	入学者数	378	323	353	327	-
伊勢学園	募集	220	220	230	230	230
	入学者数	245	283	274	289	-
鳥羽商船	募集	120	120	120	120	120
	入学者数	126	128	120	120	-
3校の欠員数(合計)		-89	-79	-82	-71	-

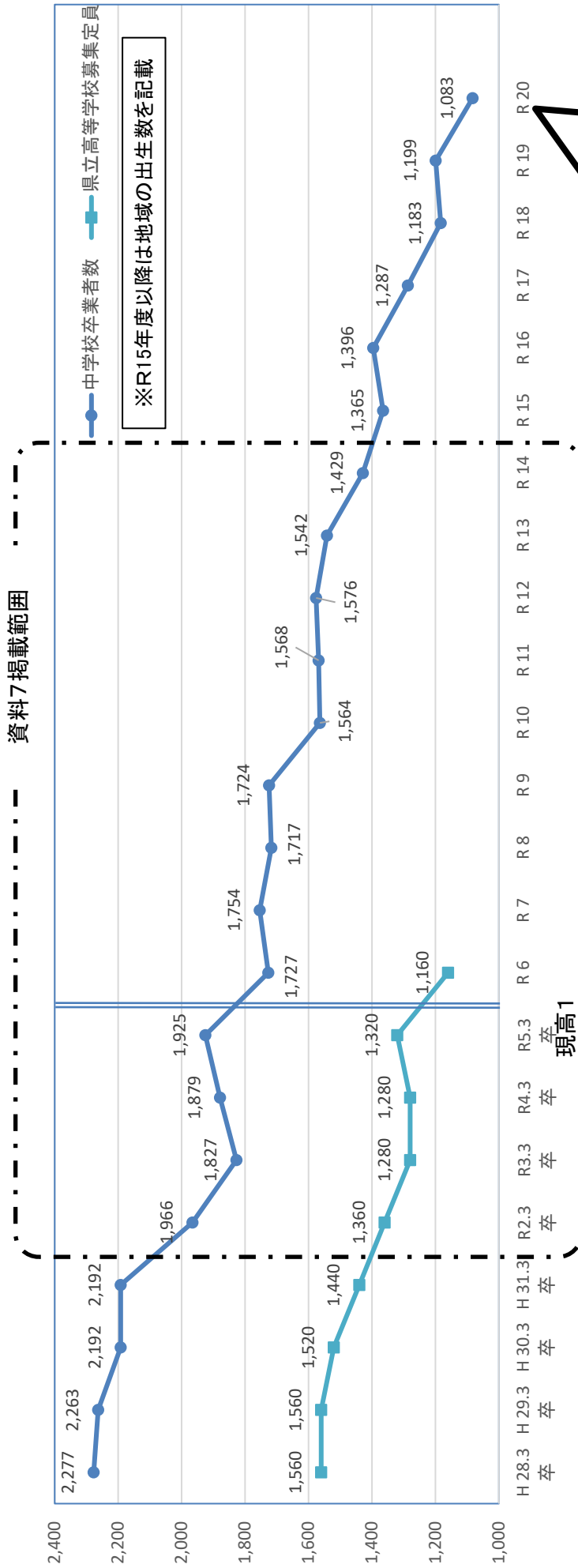
(参考)

三重	募集	530	530	540	535	530
	入学者数	624	548	584	563	-

※欠員の(-)は、定員を超過した入学者数を示す。

伊勢志摩地域の中学校卒業生数(予測)と県立高等学校募集定員

資料8



伊勢志摩地域の出生数

	H28年度出生 現小1	H29年度出生 5~6才	H30年度出生 4~5才	R1年度出生 3~4才	R2年度出生 2~3才	R3年度出生 1~2才	R4年度出生 0~1才
伊勢市	864	814	883	811	761	744	705
鳥羽市	109	94	98	83	65	88	56
志摩市	240	227	209	205	177	167	145
度会郡	241	230	206	188	180	200	177
合計	1,454	1,365	1,396	1,287	1,183	1,199	1,083

令和20年度 (15年後)
伊勢志摩地域県立高等学校
募集定員総数の見込み
15~18学級規模

令和20年度までの伊勢志摩地域の県立全日制高等学校の総学級数と当協議会の協議について

資料9

令和6年度(現中3)
地域の中学校卒業予定者数
1,727人(前年度比▲198)
募集定員 1,160人

令和8年度(現中1)
地域の中学校卒業予定者数
1,717人(前年度比▲37)

令和10年度(現小5)
地域の中学校卒業予定者数
1,564人(前年度比▲160)

令和20年度
地域の令和4年度出生者数
1,083人

29学級

宇治山田高校	(普5)
伊勢高校	(普7)
伊勢工業高校	(専4)
宇治山田商業高校	(専4)
明野高校	(専4)
南伊勢高校度会校舎	(普1)
鳥羽高校	(総1)
志摩高校	(普1)
水産高校	(専2)

28学級

伊勢志摩地域の 県立高校 (全日制)	
水産高校	(専2)

24~25学級程度

伊勢志摩地域の 県立高校 (全日制)	
--------------------------	--

15~18学級程度

伊勢志摩地域の 県立高校 (全日制)	
--------------------------	--

4学級減

2年

1学級減

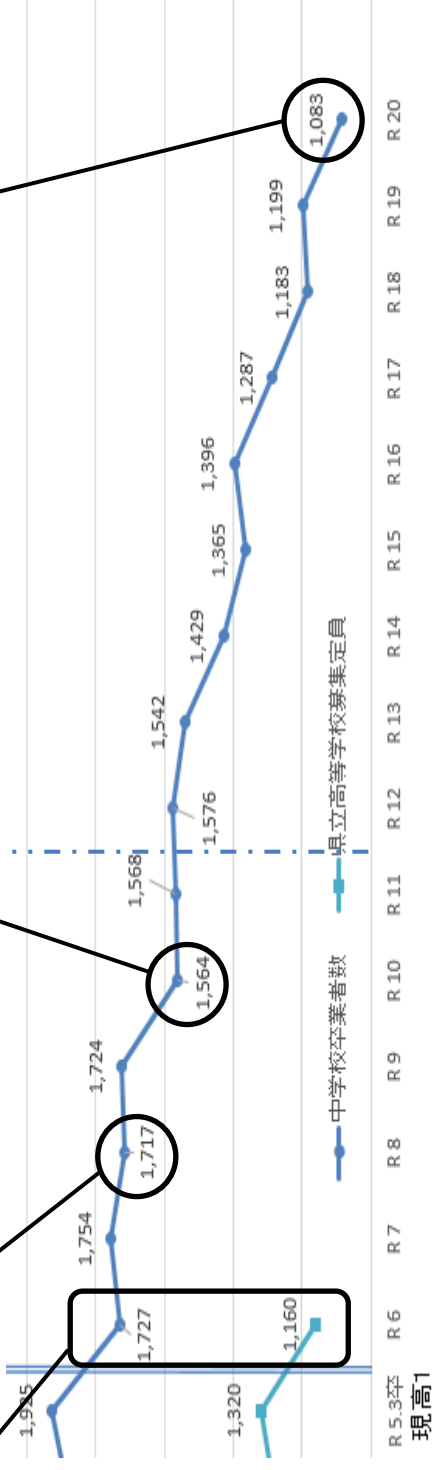
2年

3~4学級減

10年

6~10学級減

学級減への対応方針
決定時期(めど)
令和8年度分: 令和5年度
令和10年度分: 令和7年度



【普通科】

高校名	学科・コース名	クラス数
桑名	普通	6
桑名西	普通	7
桑名北	普通	4
四日市	普通	6
	国際科学コース	2
四日市南	普通	6
	数理科学コース	2
四日市西	普通	3
	比較文化・歴史コース	1
	数理情報コース	1
朝明	普通	3
四日市四郷	普通	3
	スポーツ科学コース	1
菰野	普通	4
川越	普通	5
神戸	普通	6
白子	普通	5
	文化教養（吹奏楽）コース	1
石薬師	普通	3
稲生	普通	3
亀山	普通	2
津	普通	8
津西	普通	6
津東	普通	7
久居	普通	5
白山	普通	1
上野	普通	5
名張青峰	普通	5
	文理探究コース	1
松阪	普通	5
相可	普通	2
宇治山田	普通	5
伊勢	普通	6
	国際科学コース	1
南伊勢 度会校舎	普通	1
志摩	普通	1
尾鷲	普通	2
	プログレッシブコース	1
木本	普通	3
紀南	普通	2
合計		141

【その他学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
桑名	理数	1
川越	国際文理	2
神戸	理数	2
飯野	応用デザイン	2
	英語コミュニケーション	2
稲生	体育	1
津西	国際科学	2
上野	理数	1
松阪	理数	2
合計		15

【総合学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
いなべ総合学園	総合学科	7
あけぼの学園	総合学科	2
名張	総合学科	5
飯南	総合学科	2
昴学園	総合学科	2
鳥羽	総合学科	1
木本	総合学科	1
合計		20

【情報学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
亀山	システムメディア	2
合計		2

【看護学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
桑名	衛生看護	1
合計		1

【商業学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
四日市商業	商業	5
	情報マネジメント	1
津商業	ビジネス	5
	情報システム	1
白山	情報コミュニケーション	1
伊賀白鳳	経営	1
松阪商業	総合ビジネス	3
	国際ビジネス	1
宇治山田商業	商業	2
	情報処理	1
	国際	1
尾鷲	情報ビジネス	1
合計		23

【工業学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
桑名工業	機械	1
	材料技術	1
	電気	1
	電子	1
四日市工業	機械	1
	電子機械	1
	電気	1
	電子工学	1
	建築	1
	物質工学	1
	自動車	1
四日市中央工業	機械	1
	電気	1
	化学工学	1
	都市工学	1
	設備システム	1
津工業	機械	3
	電気	1
	電子	1
	建設工学	1
伊賀白鳳	機械	1
	電子機械	1
	建築デザイン	1
松阪工業	機械	1
	電気工学	1
	工業化学	1
	繊維デザイン	1
	自動車	1
伊勢工業	機械	2
	電気	1
	建築	1
尾鷲	システム工学	1
合計		35

【農業学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
四日市農芸	農業科学科	1
	食品科学科	1
	環境造園科	1
久居農林	生物生産	1
	生物資源	1
	環境情報	1
	環境土木	1
伊賀白鳳	生物資源	1
	フードシステム	1
相可	生産経済	1
	環境創造	1
明野	生産科学	1
	食品科学	1
合計		13

【家庭学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
四日市農芸	生活文化	2
白子	生活創造	1
亀山	総合生活	1
久居農林	生活デザイン	2
相可	食物調理	1
明野	生活教養	1
合計		8

【福祉学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
朝明	ふくし	1
伊賀白鳳	ヒューマンサービス	1
明野	福祉	1
合計		3

【水産学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
水産	海洋・機関	1
	水産資源	1
合計		2

令和6年度 三重県立高等学校定時制学科別学級数（1学年）

（参考）

【普通科】

高校名	学科・コース名	クラス数
桑名	普通	1
北星	普通	2
飯野	普通	2
松阪工業	普通	1
伊勢まなび	普通	2
上野	普通	1
名張	普通	1
尾鷲	普通	1
木本	普通	1
合計		12

【工業学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
四日市工業	機械交通工学	1
	住システム工学	1
伊勢まなび	ものづくり工学	1
合計		3

【商業学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
北星	情報ビジネス	1
合計		1

【総合学科】

高校名	学科・コース名	クラス数
みえ夢学園	総合学科	3
合計		3

令和6年度 三重県立高等学校通信制学科別学級数（1学年）

【普通科】

高校名	学科・コース名	クラス数
北星	普通	1
松阪	普通	1
合計		2

県立全日制高等学校の学級数の状況(令和6年度)

資料11

地域名	募集定員 (R6卒業予定数)	40人ベースの学級数								学校数
		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	
桑名	1,200 (1,950)				桑名北(普)▲1 桑名工業(工)			桑名西(普) いなへ総合学園(総)	桑名(普・理・看)	5校 (30学級)
四日市	2,520 (3,420)				朝明(普・福) 四日市四郷(普) 菟野(普)		四日市西(普)▲1 四日市中央工業(工) 四日市農芸(農・家)	川越(普・国) 四日市工業(工)	四日市(普) 四日市南(普)	11校 (63学級)
鈴鹿	1,240 (2,415)			石薬師(普)	飯野(応予・英) 稲生(普・体)		亀山(普・情・家)	白子(普・家)▲1	神戸(普・理)▲1	6校 (31学級)
津	1,960 (2,636)		白山(普・商)				久居(普)	津東(普)	津(普) 津西(普・国)	8校 (48学級)
松阪	1,000 (1,854)		飯南(総) 昂学園(総)		松阪商業(商)		松阪工業(工) 相可(普・農・家)	松阪(普・理)▲1		6校 (25学級)
伊勢志摩	1,160 (1,727)	南伊勢 産金校舎(普)▲1 鳥羽(総)▲1 志摩(普)▲1	水産(水)		宇治山田 商業(商)▲1 伊勢工業(工) 明野(農・家・福)		宇治山田(普)	伊勢(普)		9校 (29学級)
伊賀	1,040 (1,421)		あけほの学園(総)				名張(総)	上野(普・理) 伊賀白鳳※ (商・工・農・福) 名張青峰(普)		5校 (26学級※)
東紀州	400 (470)		紀南(普)		尾鷲※(普・商・工) 木本(普・総)					3校 (11学級※)
学校数		3校 (3学級)	6校 (12学級)	1校 (3学級)	13校 (53学級※)	9校 (45学級)	7校 (43学級※)	8校 (56学級)	6校 (48学級)	53校 (263学級※)

※伊賀白鳳高校は、240人定員、7学級で募集

※尾鷲高校は、160人定員、5学級で募集

※△：前年度比増、▲：前年度比減

伊勢志摩地域の高等学校等の学科・コースについて(令和6年度)

資料12

伊勢志摩地域 全日制課程	学校名		募集定員		学科																
	公立	私立	大学科	募集定員	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
	宇治山田高校		普通科	200	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
	伊勢高校		普通科	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
	伊勢工業高校		専門学科	160	機械科	機械科	機械科	建築科	電気科												
	宇治山田商業高校		専門学科	160	商業科	商業科	情報処理科	国際科													
	明野高校		専門学科	160	生産科学科	食品科学科	生活教養科	福祉科													
	南伊勢高校南勢校舎		普通科	0																	
	南伊勢高校度会校舎		普通科	40	普通科	普通科															
	鳥羽高校		総合学科	40	総合学科																
	志摩高校		普通科	40	普通科																
	水産高校		専門学科	80	海洋・機関科	水産資源科															
	皇学館高校		普通科	315	普通科	普通科	進学コース・特別進学コース														
	伊勢学園高校		普通科	230	普通科	普通科	特別進学コース・選択コース(情報ビジネス・生活デザイン・進学)・看護医療コース														

全29学級
普通科 14
専門学科 14
(工業4)
(商業4)
(農業2)
(家庭1)
(福祉1)
(水産2)
総合学科 1

伊勢志摩地域
中学校卒業者数
R6.3卒 1,727人

- 定時制課程 県立 伊勢まなび高校 120人 普通科:午前の部40人、午後の部40人、ものづくり工学科40人(夜間)
- 通信制課程 私立 英心高校 100人 普通科:(全日型、水曜、土曜の各コース)
- 私立 代々木高校 800人 普通科:(通学コース、通信一般コース等)
- 高等専門学校 国立 鳥羽商船高等学校 120人 商船学科(40)、情報機械システム工学科(80)

(参考)

松阪地域 全日制課程	学校名		募集定員		学科																
	公立	私立	大学科	募集定員	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
	松阪高校		普通科	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
	松阪工業高校		専門学科	200	工業化学科	機械科	繊維デザイン科	自動車科	電気工学科												
	松阪商業高校		専門学科	160	総合ビジネス科	総合ビジネス科	総合ビジネス科	国際ビジネス科													
	飯南高校		総合学科	80	郷土・環境、介護福祉 総合進学、コンピュータ																
	相可高校		普通科 専門学科	200	普通科	普通科	生産経済科	環境創造科	食物調理科												
	昇学園高校		総合学科	80	国際交流、総合スポーツ 美術工芸、生活福祉、環境技術																
	三重高校		普通科	530	普通科(進学コース、特進コース、六年制)	530人															

全25学級
普通科 9
専門学科 12
(工業5)
(商業4)
(農業2)
(家庭1)
総合学科 4

松阪地域
中学校卒業者数
R6.3卒 1,854人

伊勢志摩地域の県立全日制高校卒業生の進路状況

資料13

(1) 令和5年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭 福祉	13	26	47	60	1	147
		8.8%	17.7%	32.0%	40.8%	0.7%	100.0%
宇治山田	普通	203	10	11	2	7	233
		87.1%	4.3%	4.7%	0.9%	3.0%	100.0%
伊勢	普通	240	6	6	0	21	273
		87.9%	2.2%	2.2%	0.0%	7.7%	100.0%
宇治山田商	商業	85	9	48	55	0	197
		43.1%	4.6%	24.4%	27.9%	0.0%	100.0%
伊勢工	工業	16	1	13	122	1	153
		10.5%	0.7%	8.5%	79.7%	0.7%	100.0%
南伊勢 (度会・南勢)	普通	5	1	8	32	0	46
		10.9%	2.2%	17.4%	69.6%	0.0%	100.0%
鳥羽	総合	5	2	11	36	0	54
		9.3%	3.7%	20.4%	66.7%	0.0%	100.0%
志摩	普通	13	2	21	26	0	62
		21.0%	3.2%	33.9%	41.9%	0.0%	100.0%
水産	水産	0	14	3	34	1	52
		0.0%	26.9%	5.8%	65.4%	1.9%	100.0%

普通科計	461	19	46	60	28	614
	75.1%	3.1%	7.5%	9.8%	4.6%	100.0%
専門学科計	114	50	111	271	3	549
	20.8%	9.1%	20.2%	49.4%	0.5%	100.0%
総合学科計	5	2	11	36	0	54
	9.3%	3.7%	20.4%	66.7%	0.0%	100.0%
合計	580	71	168	367	31	1,217
	47.7%	5.8%	13.8%	30.2%	2.5%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す
 ※「四年制大学」は大学校を含む
 ※「短大等」は専攻科、高専を含む
 ※「その他」は進学待機を含む

(2) 令和4年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭 福祉	14	26	59	52	2	153
		9.2%	17.0%	38.6%	34.0%	1.3%	100.0%
宇治山田	普通	201	9	18	3	3	234
		85.9%	3.8%	7.7%	1.3%	1.3%	100.0%
伊勢	普通	243	1	5	0	27	276
		88.0%	0.4%	1.8%	0.0%	9.8%	100.0%
宇治山田商	商業	82	12	48	52	4	198
		41.4%	6.1%	24.2%	26.3%	2.0%	100.0%
伊勢工	工業	12	2	21	119	5	159
		7.5%	1.3%	13.2%	74.8%	3.1%	100.0%
南伊勢 (度会・南勢)	普通	10	1	22	35	3	71
		14.1%	1.4%	31.0%	49.3%	4.2%	100.0%
鳥羽	総合	1	2	7	38	2	50
		2.0%	4.0%	14.0%	76.0%	4.0%	100.0%
志摩	普通	20	11	24	35	9	99
		20.2%	11.1%	24.2%	35.4%	9.1%	100.0%
水産	水産	2	20	9	38	0	69
		2.9%	29.0%	13.0%	55.1%	0.0%	100.0%

普通科計	474	22	69	73	42	680
	69.7%	3.2%	10.1%	10.7%	6.2%	100.0%
専門学科計	110	60	137	261	11	579
	19.0%	10.4%	23.7%	45.1%	1.9%	100.0%
総合学科計	1	2	7	38	2	50
	2.0%	4.0%	14.0%	76.0%	4.0%	100.0%
合計	585	84	213	372	55	1,309
	44.7%	6.4%	16.3%	28.4%	4.2%	100.0%

令和5年度 明野高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 農業、衣・食、福祉の専門高校として、それぞれの分野の専門的知識・技能の習得に取り組むとともに、地域との連携を推進し、地域産業にイノベーションを起こす。

2 学校の特色（生産科学科1学級＋食品科学科1学級＋生活教養科1学級＋福祉科1学級）

- 本校は、創立以来140有余年という長い歴史を有し、農業関係学科と家庭関係学科を中心に発展してきました。平成31年度より農業学科（生産科学科、食品科学科）、家庭学科（生活教養科）、福祉科の4学科の募集となり、実学を中心に地域に貢献できる社会人の育成に力を注いでいます。本校では、広大な敷地と緑豊かな学習環境の中で、課題研究や資格取得をめざして生徒たちが意欲的に学習に取り組んでいます。平成29年度から農業生産工程管理JGAP、グローバルGAP、ASIA GAP等の認証を取得しました。また放課後の部活動や、農業クラブ・家庭クラブなどの活動をとおして地域連携に励む生徒など、様々な分野に精力的に取り組み、明るく活気のある生徒がたくさん学んでいます。

<農業学科>

生産科学科では食料生産を中心とした農業生産に関する知識や技術を習得するとともに、現代の農業・農業関連産業を支え、農業の各分野で活用できる能力と態度を育成します。食品科学科では食品の加工・貯蔵・品質管理および食品衛生に関する知識や技術を総合的に学びます。将来食品業界や関連産業で貢献できる人間性豊かな能力と態度を育成します。

<生活教養科>

衣・食を中心とした家庭生活に関わる様々な分野の知識や教養を身につけ、健康で豊かな家庭生活を営める力及び生活産業を支える人材を育成します。

(ア) デザインコース

ファッションデザイン・被服製作・課題研究の中で衣生活に関する基礎的・専門的な知識と技術を習得します。作品としてはシャツ、ジャケット、ゆかた、ドレスなどを製作しています。また、家庭科技術検定などの各種検定の取得や地域との交流なども取り入れています。

(イ) 調理コース

調理・食品・食文化・課題研究といった授業をとおして調理や栄養など食分野の専門知識や基礎的技術の習得をめざします。また外部講師による講習会も多く実施しています。

<福祉科>

福祉に関する専門科目を学び、地域の福祉分野で活躍する人材を育成します。

(ア) 社会福祉コース

多様化する社会福祉に対応できる福祉の基礎を学習します。

- ・ 保育所、障がい者・障がい児、高齢者福祉施設での実習
- ・ 福祉系、保育系大学・短大・専門学校への進学を視野に入れた専門教科の学習

(イ) 介護福祉コース

介護のスペシャリストとしての専門知識・技術を修得します。

- ・ 介護福祉士の国家試験の受験資格取得および介護福祉士国家試験 100%合格（12年連続）
- ・ 地域の高齢者福祉施設での実習による実践的介護技術の修得をめざします。

令和5年度 宇治山田高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- ◎自主性を尊重し、互いに協力し合い高め合うなかで、知性と教養、豊かな人間性を育み、進路希望を実現する学校

2 学校の特色（普通科4学級）

◎歴史と伝統

- 『山高』の愛称で親しまれている「三重県立宇治山田高等学校」は、旧制宇治山田中学校と旧制宇治山田高等女学校の歴史と伝統を受け継ぎ、各界で活躍する卒業生を数多く輩出してきた、創立120年を越える進学校です。未来を担う生徒たちは、自主・自律の校訓、文武両道の伝統のもと、日々豊かで充実した高校生活を送っています。

◎主な特色

- 進路実現に向け、モチベーションを継続する学習・進路指導
 - ・質の高い豊富な授業時間数
週3回の7限授業
 - ・きめ細かな学習指導
英語・数学は、原則少人数の習熟度別授業を実施
 - ・学力向上のサポート
多様な進学向け課外授業
 - ・個々に応じた進学指導
進路希望に応じた柔軟なクラス編成（各学年5クラス規模）
※令和5年度・・・1年生：6クラス展開（前期クラス2・後期クラス4）
2・3年生：5クラス展開（選抜クラス2クラス設置）
- 自主・自律の校訓
生徒の主体性を大切にした学校行事
- 文武両道の推進
運動系・文化系クラブ 33部
- 前期入試と後期入試を設定

◎山高進学の特徴

- 1 現役での進学率が高い 99%
- 2 東海・関西地方への進学が多い 90%
- 3 文系・教育系学部への進学に強い
- 4 医療系（看護、理学・作業療法、放射線技師等）学部への進学に強い

☆多様な機関と連携した学びに取り組んでいます。

- 地域の課題をテーマにした探究活動を行っています。（行政、地域の観光協会、地域の商店街等をフィールドにした調査・研究。伊勢市高校生議会への参加）
- 令和4年度から、県事業「オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学びの推進事業」に取り組み、地域を学び場としたPBL活動を推進します。
- 外部講師を招き、探究活動やキャリア学習を進めています。（三重大学、皇學館大学、県立看護大学等からの講師）

令和 5 年度 伊勢高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

「生徒、保護者、地域の期待に応え、信頼される魅力ある進学校を目指します」

- 高い志を抱いて、社会に貢献できる人を育てます。
- 自己の実現のために、自ら学び、考え、行動し、粘り強く努力する人を育てます。
- 知的探究心にあふれ、情操豊かで創造性に富んだ人を育てます。

2 学校の特色（普通科 6 学級＋国際科学コース 1 学級）

本校の教育方針は、「生徒個々の自立を促し、知的探究心に溢れた、情操豊かで行動力のある人間を育てる」ことにあります。校章の 3 つの菱形は「知識、情操、行動」の円満な人間形成を表しています。

◎人間形成の場として

- 自主自律の精神と自由な校風です。自ら考え、自らの行動を厳しく律してこそ自由を謳歌できることを学び取ることができます。
- 体育祭、文化祭、クラスマッチなど多彩で盛り上がる行事があります。
- 担任との面談週間が年 4 回あり、学習・進路・生活面のサポート、補習・課外授業等教科のサポートも充実しています。

◎充実した学習指導

本校の教育の基本は「授業第一主義」です。「毎日の真剣な授業の積み重ねこそが真の学力になり得る」をモットーとし、生徒と教員が一体となって真剣に授業に取り組んでいます。また、45 分の 7 限とすることで、国語・数学・英語の 3 教科はほぼ毎日授業があり、基礎学力の定着に効果をあげています。

- 普通科のみで、各学年 7 クラスと南勢志摩地域では最大規模の県立高校です。
- 令和 4 年度入試での国公立大学現役合格者延べ数は、京大 4 名、名古屋大 5 名、医学部医学科 13 名などの難関大学・学部を含め 142 名でした。また、地元の三重大は 46 名でした。
- 過去 3 年間では陸上競技、弓道、軟式野球、バドミントン、卓球、フェンシング、囲碁、競技かるた、茶道、文芸が県代表として活躍するなど部活動も盛んな学校です。
- 「学校の雰囲気がよく、楽しい」と思う生徒が 90%を超える、満足度の高い学校です。
- 文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、12 年目の取組をしています。科学技術に携わる人材育成から、幅広く探究的に物事をとらえ、学問に生かす活動をしています。
- ※令和 3 年度「日本学生科学賞」で最高賞の内閣総理大臣状賞を受賞。国際コンクールでも 3 位入賞。科学の甲子園全国大会出場。

令和5年度 宇治山田商業高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「健康明朗・自律協同・誠実勤勉」の校訓のもと、生徒の自立を促し、変化する実社会で活躍できる基礎を育む学校

2 学校の特色（商業科3学級＋情報処理科1学級＋国際科1学級）

（1）商業科（3年2学級、2年2学級、1年3学級）

- ビジネスに関する幅広い知識と技術を習得し、より専門的な知識や技術を備えた人材を育成します。
- 簿記、情報処理などのビジネスに関する幅広い資格取得を進め、卒業後の進路実現をめざします。

（2）情報処理科（各学年1学級）

- 進展する情報化社会において、情報を処理・分析し、情報機器を活用した業務改善が提案できる人材を育成します。
- ITパスポート、基本情報技術者等の国家資格を中心に、簿記などのビジネスに関する資格取得を進め、卒業後の進路実現をめざします。

（3）国際科（各学年1学級）

- 多角的な英語の授業により実践的なコミュニケーション能力を身につけるとともに、簿記や情報処理などビジネスに関する知識や技術を習得し、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成します。
- 実用英語検定をはじめ、簿記などのビジネスに関する幅広い資格取得を進め、卒業後の進路実現をめざします。

【探究型活動】

3年次には、全学科共通の「課題研究」の授業において、生徒がテーマを設定し、「観光」、「ビジネスプラン」をはじめ、行政とも連携した探究的な学習に取り組んでいます。また、東北大学と連携した地域活性化につながる「未来創造プロジェクト」にも参加するなど、他の機関との連携した学びの場にも積極的に参加しています。

【活発な部活動】

ほとんどの生徒が部活動に取り組んでおり、運動部・文化部ともに活発に活動し、多くの部が全国レベルの成果をあげています。

【充実した学校行事】

秋の「山商ウイーク」として実施する「体育祭」、「山商祭（文化祭）」をはじめ、「マラソン大会」、「クラスマッチ」、「部活等の壮行会」など、たくさんの学校行事が高校生活に彩りを添え、仲間意識とともに母校愛を育てています。

令和5年度 伊勢工業高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

○活気ある工業高校 「高志」ある生徒

地元企業の基盤を支える技術者の育成を軸に、一人ひとりの生徒が望む進路の完全保障を実現する工業高校

- ・ 基本的な生活習慣を着実に身につけた、社会常識のある明るく素直で積極的な生徒の育成（ひとづくり）
- ・ 産業界から求められる確かな技術・技能を身につけようと意欲に満ちて励む生徒の育成（ものづくり）
- ・ 自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒の育成

2 学校の特色（機械科2学級＋電気科1学級＋建築科1学級）

明治29年（1896年）造船技術を学ぶ「大湊工業補習学校」として開校以来、百二十五年を超える歴史と伝統をもち、卒業生は1万5千人を超え、今までに地元企業を中心に産業界に数多くの有為な人材を輩出しています。求人数は卒業予定者数の約8倍あり、南勢地区唯一の工業高校として地元企業から人材を求められる学校です。

近年の急速な技術革新等、大きな社会の変化に応じて求められる知識や技術を十分に把握しながら、生徒が専門的な技術・技能を習得し「課題解決力」を備えた意欲的な生徒を育てています。

卒業後に企業に求められる資質・能力を育成するため、実験・実習などは10人で1班の少人数指導を実施し、一人ひとりの能力・適性に応じた教科指導を行っており、令和5年度6月のG7三重・伊勢志摩交通大臣会合において、各国大臣への地酒贈呈用に建築科の生徒が授業で木箱を製作し、高い専門性を世界に示したところです。

また、生徒の「ものづくり」の視野を広げるため、各種資格取得に向けた学習ができるよう校内体制づくりに努めるとともに、各科でスペシャリストを育成しており、「ものづくりコンテスト」県大会において令和4年度は木工加工部門、令和5年度は電気工事部門で三重県代表になりました。

令和3年度より地域で「高校生工務店」として活動を始め、地域の「困りごと」を工業高校生が「ものづくり」で解決しています。これは、伊勢志摩地域の皆さまが困っている案件を、各科の生徒が「ものづくり」の観点から課題を見出し、解決する活動です。この活動をとおして、生徒の「ひとづくり」も達成しています。

部活動も盛んで、全校生徒の約80%が11の運動部、7つの文化部に所属して活動しています。運動部は、毎年県高校総体において総合成績は上位に入っています。硬式野球部、ソフトテニス部、陸上競技部、バドミントン部を始めとする各クラブが県内の大会において顕著な成績を残しています。文化系では、ロボット部、機械研究部、建築研究部、電気研究部の工業高校の特色を活かした部活動に加えて、吹奏楽部、茶道部、美術部等があります。令和4年度には、建築研究部の1年生女子生徒が、第68回工校生デザインコンクール（日本建築協会主催）において、最優秀賞に輝きました。1年生が最優秀賞（日本一）を受賞するのは68年の大会史上初の快挙です。

進路実績は、おおよそ8割が就職し、伊勢志摩地域、三重県、東海地方と、この地域でものづくりを担うスペシャリストとして活躍しています。

令和5年度 南伊勢高校度会校舎（全日制）の特色

1 めざす学校像

○自らの力で自分の将来を切り開き、地域社会に貢献する“ひと”を育成する学校

【求める生徒像】 志を高く、目的意識をもって勉学に励もうとする生徒

本校は、地域の人々や関係機関と連携し、地域の歴史・文化・産業への理解を深める中で、他者の人権を尊重し、高齢者・身体の不自由な人々をいたわり、相互に理解し合うことができる、調和のとれた人間形成をめざしています。

2 学校の特色（普通科 ※南勢校舎と合わせて2学級）

◎本校の特色ある学習内容

- (1) 度会町社会福祉協議会との交流「福祉体験学習」「クリスマス会」等
- (2) 特別支援学校との交流「総合的な探究の時間での交流」
- (3) 環境ボランティア活動「地域清掃（草刈り、ゴミ・空き缶拾い）」
- (4) 様々な体験講座「茶摘み」「心肺蘇生法」「交通安全教室」等
- (5) 様々な講演会「人権教育」「地域活動」「進路」「国際教育」等
- (6) 小中学校等との交流「出前授業」「図書館開放」「高校生活入門講座」「進路説明会」等
- (7) 近隣ケアハウスとの交流「出前図書館」「総合的な探究の時間での交流」等
- (8) 森林組合での体験・交流「総合的な探究の時間での体験・交流」

本校では、地元の皆様の支援をいただきながら、以上のような体験的・課題解決的な授業を行い、これからの社会を生き抜く力の育成に取り組んでいます。

令和5年度も、地元茶園のご協力による茶摘み体験（度会小学校・度会中学校と合同で実施）、度会町教育委員会と協働した図書館開放イベント（地元保育所・小学校の園児・児童が来校）、ケアハウスへの「出前図書館」（本校の蔵書を持参し、貸出）、度会町役場でのインターンシップ（5人の生徒が参加）などを実施しました。総合的な探究の時間における、度会町社会福祉協議会・度会特別支援学校・いせしま森林組合・棚橋保育所等、地域の様々な団体との交流活動も例年通り実施しています。今後は度会町商工会・度会町役場と連携して、地域の夏祭りにも参画する予定です。

また、国際教育として、G7三重・伊勢志摩交通省会合に伴う「国際理解・国際交流出前授業」を活用した学習を実施しました。

◎全教職員による、一人ひとりの生徒へのきめ細かな関わり

本校では、一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細かな関わりを大切にしています。授業などの学習指導における関わりだけでなく、生徒の日々の悩み事などを全教職員がそれぞれの関係性の中で受けとめ、連携して支える雰囲気があります。また、進路実現に向けた様々な学習も全校体制で指導・支援しています。

そういった教職員の関わりは、学習活動・部活動の活性化にもつながっています。学習活動においては、基礎学力の向上、各種資格取得等に成果が現れています。部活動においては、戦績として目立ったものはなくとも、教職員の支援のもと部員が少ない中で工夫して練習し、互いを思いやり支え合いながら人間的に成長していく生徒の姿が随所に見られます。

令和5年度 南伊勢高校南勢校舎（全日制）の特色

1 めざす学校像

◎「自らの力で自分の将来を切り開き、地域社会に貢献する“ひと”を育成する学校」

●育みたい生徒像

- 自立に向け、基本的な生活習慣と基礎学力を身につけた生徒
- 自分の夢を明確にし、希望する進路に向け、自ら努力し続ける生徒
- 自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒

2 学校の特色（普通科 ※度会校舎と合わせて2学級）

本校舎は伊勢志摩国立公園内のリアス海岸沿いに立地し、夕暮れ時は教室からオレンジ色に染まる五ヶ所湾がみえるロケーションにあります。小規模校であることをメリットに、よくまとまっており、アットホームな雰囲気の中で、明るく伸び伸びと高校生活を送っています。通学は主にバスを使用しています。隣接する志摩市（磯部駅）から約25分、伊勢市（伊勢市駅）からは約45分で通学が可能です。

●コース学習について

「地域創生アドバンスコース」と「ベーシックコース」の2コースに分かれ、授業を行っています。少人数で授業を受けることができ、学力をつけることができます。

- ①「地域創生アドバンスコース」…地域創生を担う人材の育成を目的とし、大学・短大・高等看護学校等への進学、および公務員をめざすコースです。
- ②「ベーシックコース」…就職時や専門学校での学習に不可欠な学力を身につけられるよう、基礎的な内容をしっかり学習するコースです。

※コース共通選択科目…地元食材を使った調理実習や福祉関係のことを体験学習する「地域と生活」、近隣のヨットハーバーでディンギー（小型ヨット）やシーカヤックの操船等を習得する「スポーツV（ファイブ）」等を開設しています。

※令和4年度入学生からはコース分けを行っておりませんが、選択幅の広いカリキュラムを設定しています。

◎本校は『地域社会との連携・協働』を大切にしています！

- 南伊勢町・地域産業界・大学等と連携して「地域創生」に係る授業を開設し、町長・大学教授等による講話やフィールドワーク、インターンシップ等を通じて、地域リーダーの育成をめざします。
- 地域や三重大学等と連携した様々な防災教育や啓発活動を実践しています。平成30年度に学校で初めて「みえの防災大賞」受賞。令和元年度には消防庁の防災まちづくり大賞「消防庁長官賞」を受賞。そして、令和4年度には「令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞。
- 高校生が地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）を活用し、地域（まち）の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組み「SBP」を推進しており、南伊勢町からも支援をいただいています。
 - ※「SBP（Social Business Project）」は本校舎が発祥です。

令和5年度 鳥羽高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校
～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～

2 学校の特色（総合学科2学級）

鳥羽高校は110年を超える歴史と伝統のある鳥羽市唯一の公立高校で、南勢地域唯一の総合学科高校であり、観光教育の視点を大切にした地域密着の特色ある学校です。

また学習面では、基礎学習の習得を基本とし、総合学科として、1年生は総合学科科目の「産業社会と人間」等で、自分の将来、目標についてしっかりと考え、2・3年生で、将来の目標に応じた系列の授業を選択し、進路実現のために必要な科目を中心に学習します。

(1) 総合学科4系列の内容（2年生から系列選択）

- 観光ビジネス系列【企業の即戦力をめざす】
情報処理やビジネスの基本、観光地鳥羽の魅力、「鳥羽高生が自ら企画する」商品開発などを学び、地域の活性化に貢献できる力を身につけます。
- 総合福祉系列【福祉のスペシャリストをめざす】
福祉・保育施設等での体験実習、高齢者などへの援助の方法などを学び、相手の立場に立って考え行動できる「福祉の心」を身につけるとともに、介護職員初任者研修の資格取得をめざします。
- スポーツ健康系列【地域のスポーツ振興をめざす】
海に近い地域の特性を活かしたマリンスポーツや、生涯スポーツを中心に、スポーツ全般について学び、健康で明るく豊かな生活を営むための能力や態度を身につけます。
- 文理国際系列【上級学校への進学をめざす】
少人数講座が多く、一人ひとりの学習状況・進路希望に応じた学習環境で学び、進学に必要な学力から進学後の発展的な学力を身につけます。

(2) 多くの地域連携と特色ある授業、取組など

- デュアルシステム・インターンシップ（地元企業・施設等で就業体験、実習等）
- 地域学「鳥羽学」（ドローン基礎操縦、VR基礎操作等）
- 産業社会と人間（とばっ子カンパニー（起業体験プログラム）等）
- スポーツ系授業（地域の利点を生かし、釣り、ゴルフ等）
- 異校種連携（幼稚園、小学校出前講座（英語、地域研究、商品開発）等）
- ほっとばカフェ（地域こども食堂との連携、放課後生徒の居場所作り）
- 図書館リニューアル（図書館機能拡充による利用率アップ、イベント開催等）
- 部活動等連携（フェンシング部合同練習、とばっこくらぶ（地域魅力発信）など）

令和5年度 志摩高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「自律・協調・敬愛」の校訓のもと、生徒一人ひとりの希望がかなう確かな進路実現に向けて、「チーム志摩高」として教職員が一丸となって取り組む学校
- 志摩地域唯一の普通科高校として、地域と連携・協働し、地域に貢献し、地域に愛され、地域とともにある学校

2 学校の特色（普通科2学級）

在校生の90%以上が志摩市内中学校出身という極めて地域性の高い学校で、志摩市内唯一の普通科高校として地域との結びつきを大切にし、地域のサポートをいただきながら、個々の生徒に寄り添った教育活動に取り組んでいます。今後も小規模校のメリットを最大限に生かし、一人ひとりの生徒の満足度を高める教育活動を続けていきます。

(1) 志摩高校が大切にするふたつの学び

①地域について学ぶ

- 3年間の総合的な探究の時間「志摩学」で地域に関する探究活動を行う
- 「志摩学」の一環としてフィールドワークを行い、地域の方の生の声を聞く
- 地域の方を講師に招き、地域の実情を学ぶ
- 地域に関連する題材を取り入れた日々の授業をとおして、多面的に地域を学ぶ
- 部活動、生徒会活動、学校行事等、学校生活全般で地域と関わる

②進路希望をかなえる

- 小規模校のメリットを活かし、一人ひとりの生徒に寄り添った指導を行う
- 習熟度別学習や、放課後の学習タイム「マナビバ」を活用し、基礎学力の定着と一人ひとりに応じた学力向上をめざす
- コミュニケーション能力・社会常識・課題解決能力等、社会の即戦力となる力を身につける
- 1年次からの計画的なキャリア学習をとおして、自身の進路意識を高める

(2) 進路を実現するためのコース

2年次からは、卒業後の進路目標に合わせ、コースに分かれて学習します

- 特別進学コース・・・進学後に備えた学力養成と、三重大学教育学部や医療看護系受験にも対応した科目が学べる進学希望者向けコース
- 情報事務コース・・・現代社会で必須であるパソコンスキルの習得や関連資格取得にもチャレンジできる就職希望者向けコース
- 教養一般コース・・・社会人として求められる基本的な能力を身につけ、目的に応じて科目を選べるコース

(3) 地域連携

- ・地域連携型キャリア教育「志摩学」でのフィールドワークや、事業所等による講演
- ・各種行事への参加「志摩の夏祭り（美術部）」「高校生によるスマホ教室（有志）」
- ・志摩市選挙管理委員会による「模擬選挙」「期日前投票所の設置」
- ・鳥羽警察署と連携したハイスクールパトロール「A f t e r G 7」
- ・美術部による「マンホールデザイン」「堤防の壁画制作」等各種依頼への対応 他

令和5年度 水産高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

「かけがえのない海を護り、命を尊び、海の恵みを活用する豊かな人間性を備えた人材を育成する」というスローガンのもと、「学力の定着・向上」「希望進路の実現」「豊かな心の育成」を中心に生徒を育成し、地域と社会から信頼され必要とされる学校

2 学校の特色（海洋・機関科1学級＋水産資源科1学級）

県内唯一の水産・海洋系専門高校として海洋・機関科（2年次より海洋コース、機関コース、水産工学コース）と水産資源科（2年次よりアクアフードコース、アクアデザインコース）を設置し、次のような特色ある教育活動を実施しています。

- 実習船「しろちどり」による長期航海実習
- 海洋環境調査や大型魚貝類の放流など水産資源についての貢献活動
- ダイビングなどのマリンスポーツについての学習
- ディーゼルやガソリン等の各機関や機械等の構造、作動、取扱いについての学習
- 金属材料や機械製図、機械加工等についての学習
- 小型船舶操縦士、ボイラー技士、電気工事士、危険物取扱者等の資格取得
- 魚介類の養殖や繁殖保護、魚介類に関する食品加工、真珠等の宝飾加工についての学習。また、本校は5級海技士（航海・機関）の養成施設の指定を受けているため、5級海技士の筆記試験が免除
- 大型漁船や貨物船の船長・機関長、士官となるために必要な上級海技士免状の取得をめざす漁業専攻科・機関専攻科（各2年）も設置

<海洋コース>

航海や海に関する知識・技術を習得し、海技士（航海）・1級小型船舶操縦士の資格を取得し、水産業界をはじめとする各産業界や地域に貢献できる、船舶の操船に関するスペシャリストを養成します。

<機関コース>

約3ヶ月の航海実習を実施し、大型船の機関士をめざすために必要な知識や技術の習得を目標とします。併せてボイラー技士等の資格を取得し、水産業界や地域に貢献できる人材を育成します。

<水産工学コース>

ディーゼルエンジン・ボイラー等の構造・取扱い、機械材料・機械製図・機械加工等を学びます。また、ボイラー技士等の資格を取得し、水産業界や地域に貢献できる人材や、大学進学にも力を入れ、将来水産教育の指導者を育成します。

<アクアフードコース>

乾製品、ねり製品、缶・ビン詰等の水産加工についての実習を行い、水産食品の品質管理や安全管理の知識・技術を習得するとともに、流通についても学習し、調理を含めた食に関する学習を行います。また、ボイラー技士等の資格を取得し、水産業界や地域に貢献できる人材や、大学進学にも力を入れ、将来の水産教育の指導者を育成します。

<アクアデザインコース>

海洋環境や海洋生物について学習し、海洋生物の種苗生産や飼育管理、アクアリウム（水槽での飼育・展示）の設計について実習を行います。地域産業である真珠養殖についても学習し、知識・技術を習得します。また、ボイラー技士等の資格を取得し、水産業界や地域に貢献できる人材や、大学進学にも力を入れ、将来の水産教育の指導者を育成します。

令和5年度 伊勢まなび高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 生徒が安心して楽しく学べる学校
- 生徒が学びたい内容を自分のペースにあわせて学べる学校
- 生徒が社会に出て自立できる力を身につけられる学校

2 学校の特色

(1) 3部制の定時制高校

普通科の「午前の部」（8：50～12：15）と「午後の部」（13：10～16：35）、ものづくり工学科（工業科）の「夜間部」（17：30～21：05）の3部からなる定時制高校です。生徒はいずれかの部に所属し、基本的に一日4限の授業を受けます。

(2) 単位制の高校として

単位制の本校には、「進級」や「原級留置」という考え方がありません。学校が定める教科科目を74単位以上修得すれば卒業できます。定時制高校は4年間で卒業することを基本としますが、本校では自分の所属する部の時間帯以外の授業を受けることにより、3年間で74単位以上の科目を修得し卒業すること（三修制）も可能です。高等学校卒業程度認定試験の合格科目、技能審査に関する学修、通信制課程での修得単位（定通併修）等、学校外での学修成果に対して一定の条件で単位を認定しており、認定された単位を卒業に必要な単位に含めることもできます。

また、社会に出て自立できる力をつけられるよう、必修科目以外に「手話」「ペン習字」「コミュニケーション学習」「地域産業」等、本校独自の多様な選択科目を設定しています。

(3) 通級による指導の導入（県内の高校で初）など多様な生徒支援

本校には、不登校や他校を退学した経験がある生徒、家庭的・経済的に困難さがある生徒、発達障がい等の障がいのある生徒等、特別な支援を必要とする生徒が在籍します。多様な生徒を支援するため、少人数のクラス編成やティーム・ティーチングの実施、特別支援教育の推進等に取り組んでいます。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、高校生活スペシャリストや外部機関とも連携しながら、きめ細かな教育を行っています。

特に、発達障がいのある生徒については、障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服し、社会で自立するために必要な力やコミュニケーション能力等を高めることができるよう、通級による指導を実施しています。通級による指導とは、大部分の授業を通常の学級で受けながら、障がい等に応じた特別な指導を特別な場で受ける指導形態のことであり、授業の遅れを取り戻すために取り出して行う指導ではありません。

学級規模による教育環境の比較

1 設置科目【普通科の教育課程における設置科目の例】

同じ普通科であっても各校の特色やコース設定があるため単純な比較はできないものの、学級規模が小さくなることにより、それぞれ開設科目が減少する傾向があります。

※R4年度入学生普通科(C校のみ単位制)

教科	科目	A校8学級	B校7学級	C校6学級	D校5学級	E校4学級	F校3学級	G校2学級	H校1学級
国語	現代の国語	○	○	○	○	○	○	○	○
	言語文化	○	○	○	○	○	○	○	○
	論理国語		○	○	○		○	○	○
	文学国語		○		○	○	○	○	
	国語表現		○		○				○
	古典探究	○	○	○	○		○	○	○
	(学校設定科目)	②		⑥	○	④	③		②
地理歴史	地理総合	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理探究	○	○	○	○	○			
	歴史総合	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本史探究	○	○	○	○	○	○	○	○
	世界史探究	○	○	○	○	○	○	○	
	(学校設定科目)	③	③		○	○			
公民	公共	○	○	○	○	○	○	○	○
	倫理	○	○	○	○				
	政治・経済	○	○	○		○	○	○	○
	(学校設定科目)		②	③		○			
数学	数学Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○
	数学Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○	○
	数学Ⅲ	○	○	○	○	○			
	数学A	○	○	○	○	○	○	○	○
	数学B	○	○	○	○	○	○	○	○
	数学C	○	○	○	○		○	○	
	(学校設定科目)	②	③	⑧	⑤	③	③	②	○
理科	科学と人間生活				○	○	○	○	
	物理基礎	○	○	○	○		○		
	化学基礎	○	○	○	○	○	○	○	○
	生物基礎	○	○	○	○	○	○	○	○
	地学基礎	○		○	○		○		○
	物理	○	○	○	○		○		
	化学	○	○	○	○		○	○	
	生物	○	○	○	○	○	○		
(学校設定科目)	③	○	⑥					②	
保健体育	体育	○	○	○	○	○	○	○	○
	保健	○	○	○	○	○	○	○	○
	(学校設定科目等)			④		○		○	○
芸術	音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○	○Ⅰのみ
	美術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○	○Ⅰのみ
	書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○	○	○		○Ⅲなし	○	○	
	(学校設定科目等)			⑩	○	⑥	○	②	②
外国語	英語コミュニケーションⅠ	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語コミュニケーションⅡ	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語コミュニケーションⅢ	○	○	○					
	論理・表現Ⅰ	○	○	○	○		○	○	○
	論理・表現Ⅱ	○	○	○				○	
	論理・表現Ⅲ	○	○	○					
	(学校設定科目等)		②	⑧	④	⑤	○		③
家庭	家庭基礎or家庭総合	○	○	○	○	○	②	○	○
	フードデザイン			○	○	○		○	
	(学校設定科目等)				○	○	○	○	③
情報	情報Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○
	情報Ⅱ (学校設定科目等)		○	○	○		○		
商業	簿記				○	○		○	
	情報処理				○	○	○	○	○
	(学校設定科目等)					○		②	③
(学校設定科目等)		⑥	⑥		○	②		②	②

○の中の数字は設置された科目数。○のみは1科目

2 教員配置

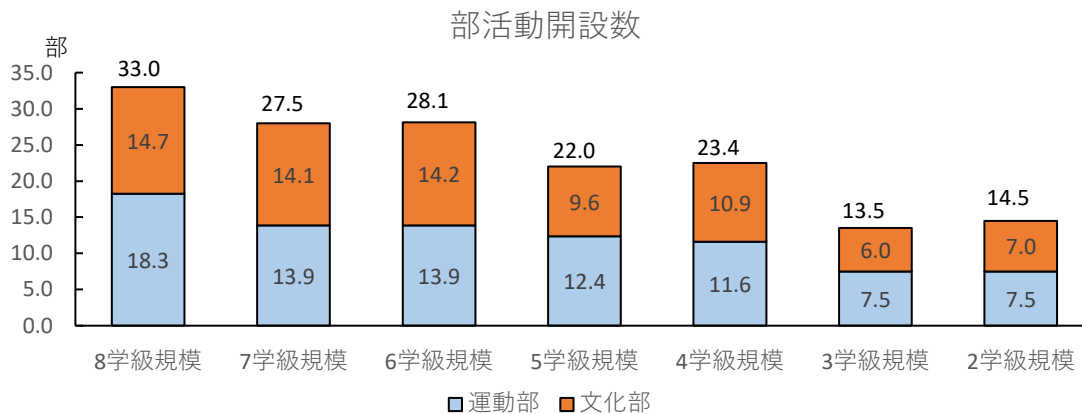
各校に配置する教員数は、学級数（≒募集定員）に応じて定められており、1学級減るごとに5～7人の教員が減ります。

学級数	8学級	7学級	6学級	5学級	4学級	3学級	2学級	1学級
教員数 (人)	52	47	42	35	28	22	15	8

※ 上記以外に一定の加配教員、非常勤講師の配置あり

3 部活動

部活動開設数については、4～8学級規模の学校では平均22～33部が開設されている一方で、2～3学級規模の学校では平均13.5～14.5部と、6学級規模以上の学校の半分程度になっているなど、学校規模が小さくなるほど生徒における部活動の選択の幅は限られる状況となっています。また、硬式野球、サッカー、バレーボール、バスケットボールなどの団体競技に所属する生徒数が少なくなり、単独チームでの大会出場が難しくなっています。



※ 令和2年度三重県学校体育・部活動実態調査より